

皆様に知ってもらいたい寄附金の使い道

私たちの生活に欠かすことのできない農業

旭川市は、北海道一の米どころで、「ゆめぴりか」や「ななつぼし」を始めとした美味しいお米を作っています。お米の他にも大豆やそば、たくさんの種類の野菜やくだものも作られていて、さらに、牛や豚などの畜産物や豊富な農産物を使った農産加工品も作られています。

これらの農産物は、旭川市内へ流通するほか、全道全国各地に出荷され皆様の食を支えています。

今後も農業を維持するためには支援が必要

全国的な少子高齢化などから、農業分野でも担い手不足が深刻になっています。また、地球温暖化による栽培環境の変化や不安定な世界情勢も農業を続ける上での課題となっています。これからも旭川市の農業を維持していくためには、農作業の効率化を進めるためのスマート農業機器の導入など設備投資に対する継続した支援が必要です。

旭川の農産物をしっかりと PR

丹精込めて作った農産物を正しく評価していただき、適正な価格で買っていただくことで、農業者が継続して農業生産に取り組むことが可能となります。旭川産の農産物の良さを地元へ向けてはもちろんですが、全国に向けて発信することで「旭川産」に興味を持ってもらい手に取ってもらうことが大切です。

イベントなどでの PR のほか、SNS を使ったプレゼントキャンペーンや旭川食のアンバサダーである旭川市出身のフレンチシェフ下國伸氏に協力いただいています。

旭川産農産物を食べて応援してください！

皆様の食を支えるため、農家の皆様は、社会情勢や自然環境の変化に対応しながら農業を続けています。

今後も農家の皆様が安心して、やりがいを持ちながら農業を続けることができるように、美味しい旭川産の農産物を食べて、旭川の農業を応援してください。

寄附金の使い道

皆様からいただいた寄附金は、スマート農業や省力化技術導入など農産物の生産に必要な設備投資への支援や旭川産農産物の流通拡大に向けたイベント開催、有機農業の推進、SNS キャンペーンなどの PR 事業に活用させていただきます。

お問合せ先

農政部農業振興課 電話 0166-25-7438